

会長就任の年度を振り返って

上田 克彦

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長



2020年6月に本会の執行体制を引き継ぎ10カ月になろうとしています。事業計画の達成評価については総会、理事会において報告する予定です。一方、就任時に会長としての目標を示させていただきました。年度を終えるに当たって自己評価をしてみたいと思います。

まず初めに「現事業継続および評価・適正化」については、多くの事業が新型コロナウイルス感染症により実施できませんでした。事業評価について各担当役員に自己評価を指示しました。2つ目の「財務運営の評価・適正化」については、事務所経費などの削減計画を実現し、来年度の年会費減額を提案しました。3つ目の「会長任期設定の検討」については、適切な任期について検討中ではありますが、まだ提案できておりません。4つ目の「読影の補助の推進（放射線専門医の協力）」については、日本医学放射線学会、日本放射線科専門医会・医会に、画像診断を専門としている医師による指導が今後の発展につながるとして要望しています。5つ目の「業務拡大の推進（医師の働き方改革として日本医学放射線学会との協調）」については、診療放射線技師免許を有する全ての方に義務となる告示研修を計画しています。オンデマンドで視聴できるオンライン基礎研修と、集合型の実技研修を受講していただく予定です。日本医学放射線学会および日本看護協会に研修教材の監修と講師派遣についてお願いしています。6つ目の「日本放射線技術学会（JSRT）との事業の協調と効率化」については、JSRT代表理事とのトップ会談を行い両会の役割を明確に示しました。両会合同の委員会を設置し、両会の発展につながる協同事業について検討しています。7つ目の「診療放射線技師養成機関との協調（カリキュラム変更の具体的対応と臨床実習の在り方）」については、業務拡大に対応した新カリキュラムの課題について協議しています。8つ目の「関係省庁との連携強化」については、厚生労働省と業務拡大および関連の調査について緊密に協力しました。9つ目の「各都道府県技師会の活動支援と少人数施設会員の支援」については、各都道府県（診療）放射線技師会とのオンライン交流を企画し、役員・会員と交流を実施しています。最後に「入会促進」については、本年度は例年よりも入会者数が少ない状況です。入会促進の事業のみならず、事業実施ができなかったことも要因の一つであると考えています。魅力ある事業展開、入会促進事業を展開する必要があります。

以上のように、全てが順調に実施できたわけではありません。未達成の活動は対策を検討し改善していく所存です。各事業運営について目標を明確にし、評価を行い改善できるように会務を進めてまいります。

本年度は新型コロナウイルス感染症の対応で大変な中、本会運営にご協力いただきました会員の皆さま、事務局、委員、役員の皆さまに感謝しております。また来年度は診療放射線技師法改正による「求められる業務拡大」に対応した告示研修を実施致します。今後もご協力のほど、よろしくお願い致します。